



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月27日

上場取引所 東大

上場会社名 アツギ株式会社
コード番号 3529 URL <http://www.atsugi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤本 義治
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 工藤 洋志

TEL 046-235-8107

四半期報告書提出予定日 平成24年2月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,807	1.3	1,097	△29.8	681	△48.6	314	△74.7
23年3月期第3四半期	17,576	△3.9	1,562	△12.4	1,325	△19.8	1,242	45.9

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 481百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 45百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	1.78	—
23年3月期第3四半期	6.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	52,358	43,107	82.1
23年3月期	53,249	43,882	82.2

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 43,002百万円 23年3月期 43,776百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	2.0	1,000	△39.7	600	△54.4	130	△86.9	0.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	188,195,689 株	23年3月期	208,195,689 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	15,259,698 株	23年3月期	27,828,669 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	176,766,922 株	23年3月期3Q	183,052,653 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの回復の兆しが見え始めてはいるものの、エネルギー問題や環境汚染問題等は依然として厳しい状況にあり、継続する円高や株価低迷などにより企業収益への影響が懸念され、引き続き厳しい雇用情勢および所得環境なども加わり、景気の先行きは不透明なまま推移しております。

繊維業界においても、消費動向の大幅な改善は見られず、また企業間競争の激化により、依然として厳しい環境にあります。

このような状況において、当社グループは、原料加工から最終製品までを一貫生産し販売する専門メーカーとしての特性を活かし、価格を上回る価値ある商品の企画開発と、グループ全社を挙げて効率性アップに取り組み、収益改善に努めておりますが、原材料高や中国における人件費高騰等のコスト増加や、個人消費の低迷に加え、商品構成の変化の影響等のため、厳しい経営環境が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は 17,807 百万円(前年同期比 1.3%増)、営業利益は 1,097 百万円(前年同期比 29.8%減)、経常利益は 681 百万円(前年同期比 48.6%減)、四半期純利益は 314 百万円(前年同期比 74.7%減)となりました。

セグメント別の業績を示すと、次の通りであります。

〔繊維事業〕

靴下部門は、新ブランド「ASTIGU(アスティグ)」の秋冬向け新商品などが順調に推移し、プレーンストッキングやプレーンタイツは伸長し、セパレート商品やソックスなども堅調に推移しました。一方で引き続きトレンド性の高い商品は伸び悩みましたが、同部門の売上高は 14,785 百万円(前年同期比 4.0%増)となりました。

インナーウェア部門は、ショーツおよびニューインナー関連商品は堅調に推移しましたが、ブラジャーおよびガードル、防寒商品は伸び悩み、その結果、同部門の売上高は 2,235 百万円(前年同期比 8.1%減)となりました。

これらの結果、繊維セグメント全体では売上高 17,020 百万円(前年同期比 2.3%増)、営業利益は 792 百万円(前年同期比 35.8%減)となりました。

〔不動産事業〕

不動産事業については、依然厳しい状況は継続しており、不動産セグメント全体では売上高 456 百万円(前年同期比 22.5%減)、営業利益は 297 百万円(前年同期比 6.1%減)となりました。

〔その他〕

その他の事業については、介護用品が市場環境の変化などにより、セグメント全体では売上高 329 百万円(前年同期比 3.5%減)、営業利益は 7 百万円(前年同期比 35.0%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は 52,358 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 891 百万円減少いたしました。これは主に、現預金の減少 2,344 百万円、売上債権の増加 1,100 百万円等によるものであります。

負債の部は 9,250 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 116 百万円減少いたしました。これは主に、通貨オプションの減少 156 百万円等によるものであります。

純資産の部は 43,107 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 775 百万円減少いたしました。これは主に、前期決算に係る配当金 541 百万円等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は 82.1%(前連結会計年度末は 82.2%)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しについては、依然として先行き不透明な経済情勢が続くことが予想されます。当社グループを取巻く環境は引き続き厳しい状況で推移していくものと予想されますが、価格を上回る価値ある商品作りと経営の効率化、合理化を進め目標達成に全力を挙げて取り組んでまいります。そのため、平成23年10月18日に公表の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,868	7,523
受取手形及び売掛金	3,401	4,502
商品及び製品	3,245	4,097
仕掛品	1,884	1,781
原材料及び貯蔵品	491	647
繰延税金資産	392	399
その他	255	393
貸倒引当金	△15	△22
流動資産合計	19,525	19,322
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,885	6,024
機械装置及び運搬具（純額）	2,742	2,841
工具、器具及び備品（純額）	98	106
土地	16,758	16,646
建設仮勘定	1,031	590
有形固定資産合計	26,516	26,208
無形固定資産	470	430
投資その他の資産		
投資有価証券	5,924	5,652
繰延税金資産	157	151
その他	664	593
貸倒引当金	△8	△0
投資その他の資産合計	6,737	6,396
固定資産合計	33,723	33,035
資産合計	53,249	52,358

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,297	2,827
未払法人税等	155	123
賞与引当金	143	43
その他	2,408	2,249
流動負債合計	5,004	5,243
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	2,460	2,152
退職給付引当金	1,297	1,285
その他	603	569
固定負債合計	4,362	4,007
負債合計	9,366	9,250
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,706	31,706
資本剰余金	11,389	9,397
利益剰余金	6,400	5,749
自己株式	△2,772	△1,495
株主資本合計	46,723	45,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	△170
繰延ヘッジ損益	△940	△774
土地再評価差額金	△1,483	△751
為替換算調整勘定	△533	△658
その他の包括利益累計額合計	△2,946	△2,355
少数株主持分	106	105
純資産合計	43,882	43,107
負債純資産合計	53,249	52,358

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	17,576	17,807
売上原価	10,776	11,327
売上総利益	6,799	6,479
販売費及び一般管理費	5,237	5,381
営業利益	1,562	1,097
営業外収益		
受取利息及び配当金	130	144
持分法による投資利益	27	22
その他	61	69
営業外収益合計	219	236
営業外費用		
租税公課	27	49
為替差損	392	536
その他	36	65
営業外費用合計	456	651
経常利益	1,325	681
特別利益		
投資有価証券売却益	3	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	17	8
投資有価証券評価損	13	159
投資有価証券売却損	3	0
減損損失	—	51
特別損失合計	35	220
税金等調整前四半期純利益	1,294	461
法人税、住民税及び事業税	47	136
法人税等調整額	0	9
法人税等合計	48	145
少数株主損益調整前四半期純利益	1,245	315
少数株主利益	3	1
四半期純利益	1,242	314

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,245	315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△262	△181
繰延ヘッジ損益	△515	165
土地再評価差額金	—	308
為替換算調整勘定	△405	△123
持分法適用会社に対する持分相当額	△17	△4
その他の包括利益合計	△1,200	165
四半期包括利益	45	481
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52	482
少数株主に係る四半期包括利益	△6	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 ～ 至 平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	16,644	589	17,234	342	17,576	-	17,576
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	1	-	1	(1)	-
計	16,646	589	17,235	342	17,577	(1)	17,576
セグメント利益	1,233	317	1,550	11	1,562	(0)	1,562

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の製造・仕入・販売であります。

(注) 2 セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 ～ 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,020	456	17,477	329	17,807	-	17,807
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	-	2	-	2	(2)	-
計	17,022	456	17,479	329	17,809	(2)	17,807
セグメント利益	792	297	1,089	7	1,097	(0)	1,097

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入および販売であります。

(注) 2 セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去であります。

(注) 3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産に含まれている売却予定の固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減額処理しております。

なお、当該減損損失51百万円は当第3四半期連結累計期間に特別損失として計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年5月13日の取締役会決議により、平成23年5月31日付で、自己株式2,000万株の消却を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が1,991百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金は9,397百万円となっております。